

評価について（学校HPシラバスの説明）

熊本県立第二高等学校

令和4年度から新高等学校学習指導要領が実施され、本校でも1年生から新しい教育課程、新しい学習評価に取り組むことになりました。新教育課程では、各教科等の目標の実現に向けて、育成を目指す資質・能力である「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を踏まえ、観点別学習状況評価を行います。

さらに本校は、同時にSSH第V期「先導的改革型」の指定を受け、科学的探究力の育成を通して、理系文系の枠を越えたイノベーション人材を育成していきます。これらを踏まえて、各教科の実態に合わせて学習活動と評価を行っていきますので添付のシラバスをご覧ください。

1 用語の説明～「二高ICEモデル」について

シラバス等で記載されている「Iフェーズ」「Cフェーズ」「Eフェーズ」は第二高校が育成しようとする人間像をより具体的に表現するために第二高校独自で定めたもので、学習指導、三観点別学習状況評価、授業改善に活用します。

参考にした「ICEモデル」はカナダで実践されるIdeas（知識）、Connections（つながり）、Extensions（応用）を軸とした評価方法をもとに、主体的な学びを評価する指標として開発されたものです。

2 全教科で育みたい資質・能力について

| 資質・能力 | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|---------------------|----------------------------|---|--|
| 親和性の高いICEフェーズ | Iフェーズ | Cフェーズ | Eフェーズ |
| 学習活動全般 | ①授業で学んだ知識や技能 | ①持っている知識を別の場面で活用する力 ③論述、パフォーマンス、作品など考えや思いを表現する力 | ①粘り強い取組を行おうとする力 ②自分自身で学びを調整しようとする力 |
| 探究的な学習（探究活動や課題研究など） | ①学習において学んだ知識 ②探究の基本的な技能 | ①課題設定力 ②情報活用能力 ③課題解決に導く思考力、分析力 ④効果的なプレゼンテーションができる表現力 | ①オリジナルな視点による課題発見力 ②自分の生活や好奇心と学習を結びつけ探究しようとする力 ③自分自身の生き方やものの考え方を深めようとする力 ④対外的な活動に積極的に取り組もうとする力 |